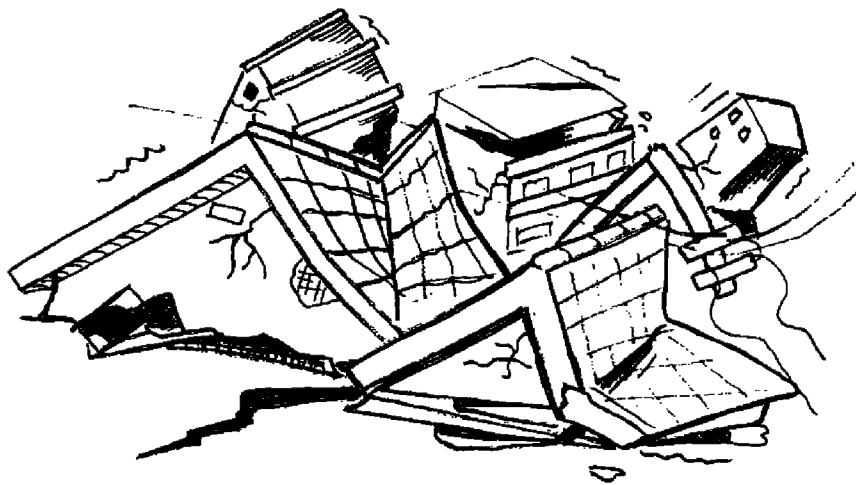


基本は「自分の身は、自分で守る」

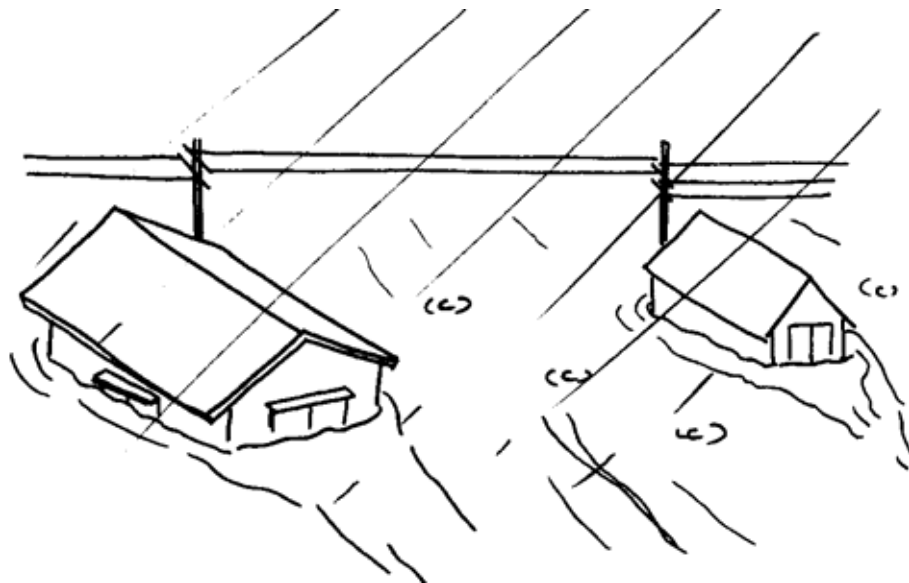
災害(地震・洪水・土砂崩れ・大火災など)

いつ起こるかわからない、だから今から自分でできる準備をする



地震

洪水

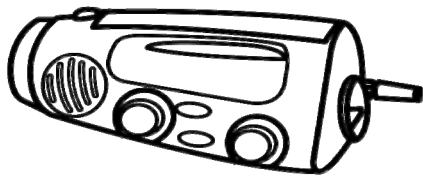


地崩れ

① 非常持出し品を用意する

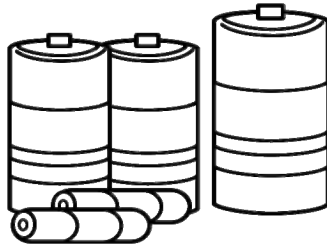
懐中電灯

暗いところでの会話ができる。建物の下敷きになった時、ライトで知らせる



電池

懐中電灯に使うなど



救急医療品

軽いケガなどは、自分で手当てしよう

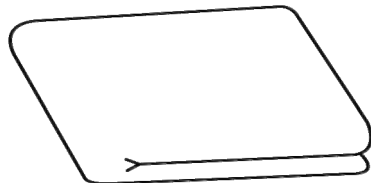


非常食・水

3日分×家族の人数分を準備しておく

タオル

体をふいたり、大切な物を包んだり座布団や毛布のかわりにもなる。



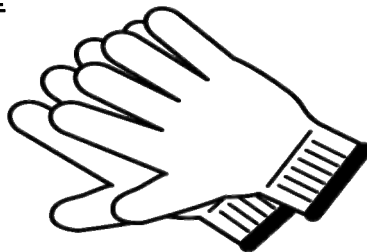
日頃食べているお菓子や飴など余分に買っておくのもよい

ヘルメット

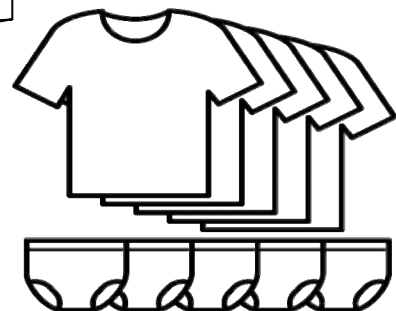
上から何が落ちてくるかわからない...

作業にも使える。寒い時の手袋にもなる。手のケガの保護にも使える

軍手



下着



避難生活がどれくらい続くかわからない。洗濯もお風呂もない日が続くかもしれない



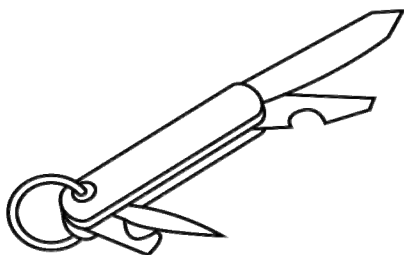
缶切り

非常食の缶詰切り、袋を切る食べ物を切る

身分証明 IDカードなど

携帯電話

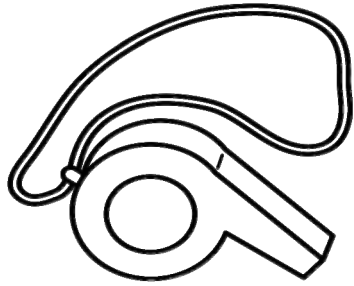
防災手帳を持ちましょう



電池式の充電器があるとよい

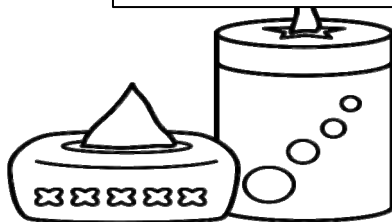


笛 「SOS」助けを呼ぶため



ティッシュ
ペーパー

水が使えないかも…
食事の前には、ウェットティッシュ！衛生面にも気を配る

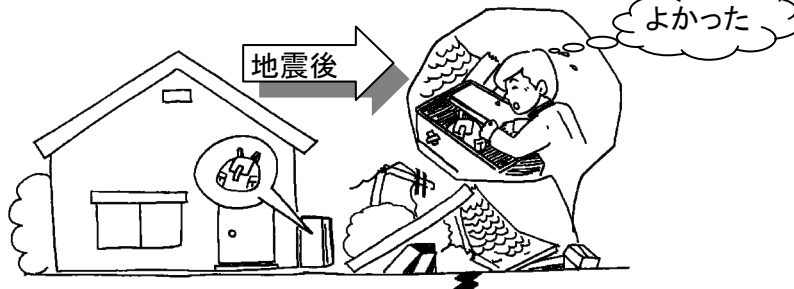


お金



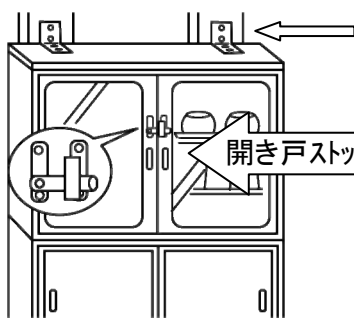
公衆電話で安否連絡をお願いする時に必要。コンビニや大型スーパーが、災害の時にも買い物できるかもしれない

いつでも避難できる準備をしましょう



②家中 家具の固定法

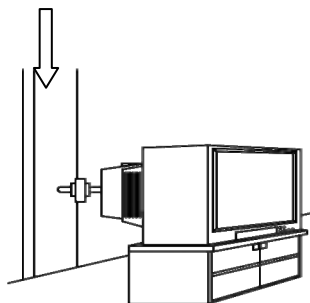
ダンス・テレビ・食器棚など固定する
出入り口・通路に物をおかない、逃げる時邪魔になる



食器棚・家具配置など

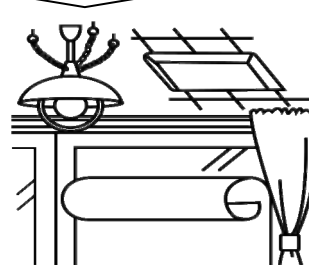
・ふんばるくん、・びくとも震など・

L型金具家具転倒防止金具



テレビ

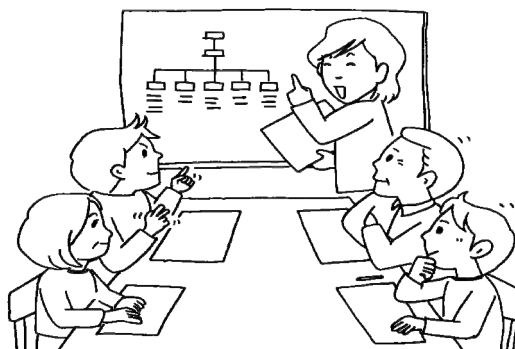
ガラス飛散防止シート



扉・ドア・窓

③日頃から近所付き合いをする

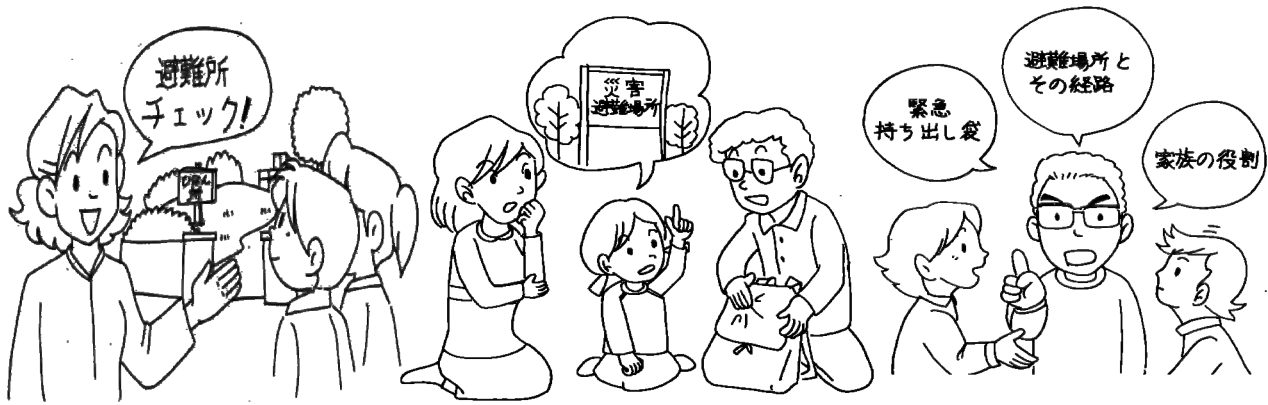
あいさつをする、聞こえないことを知ってもらう
緊急の避難命令など、情報を知らせてもらう(情報をもらえるよう交流が大切！！)



町内会の
会合
などに
参加

④ 家族で避難場所など話し合う

家族や近所の人たちで避難場所や安全に避難できる経路を確認しましょう

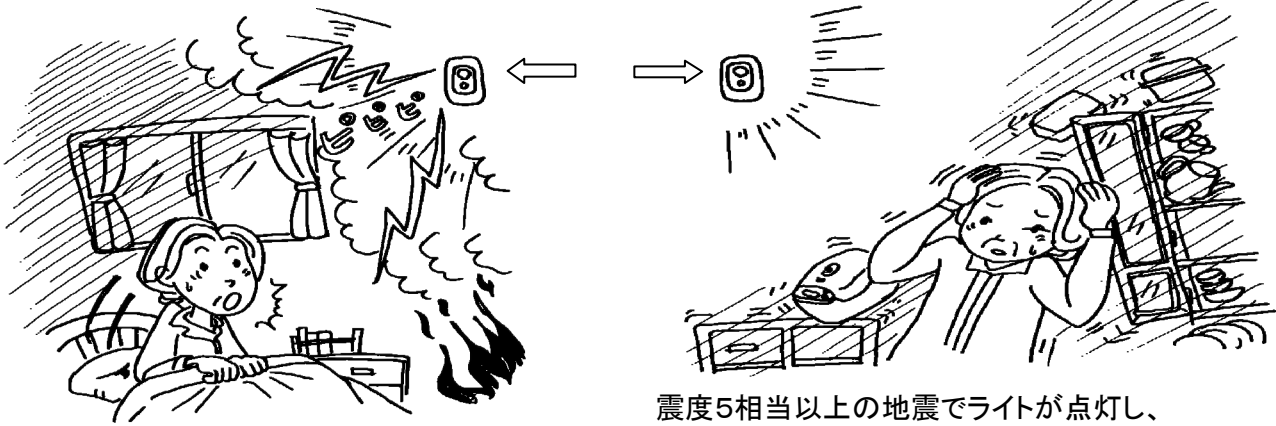


災害の時、必ずサポーターの方がすぐに来てくれる、または、連絡が来るとは限りません！！

災害の時は、みんな誰もが被災者ですから、まず『自分の身は自分で守る』ことを、日常生活の中で意識し、準備してください。

もし、災害が起こったら

音だけでなくライトが点灯して知らせる聴覚障害者用の火災警報器があります



煙を感知するとブザーが鳴りライトが点灯します

震度5相当以上の地震でライトが点灯し、
足元を10分間照らします

「あわてない」

○必ず「火」を消す

(ガスコンロ、ストーブ、たばこなど)

○上から物が落ちてこない所で待つ

○地震で戸が開かなくなる事もある
ので、戸・窓を開ける

